



町民スキー＆スノーボード教室

冬号

12月定例会報告

* 条例制定・補正予算	2ページ
* 条例改正	3ページ
* 一般質問	4ページ
* 臨時会	11ページ
* 議会の動き	12ページ

12月定例会 大谷地区若者住宅条例を可決

平成21年12月定例会は、14日から18日までの5日間の会期で開催されました。

条例の制定や改正、補正予算など全9議案が審議され、いずれも原案どおり可決されました。

大谷地区若者住宅条例

大谷寺西地内に建築中の新たな若者住宅の、入居資格や家賃等が決定されました。

入居資格 18歳未満の子がいる子育て世帯であること

家賃 木造2階建（8戸）

1子扶養	45,000円
2子扶養	43,000円
3子扶養	39,000円
4子以上扶養	19,500円
鉄筋コンクリート造（8戸）	
1子扶養	40,000円
2子扶養	38,000円
3子扶養	34,000円
4子以上扶養	17,000円

主な質疑

Q 所得の範囲はあるのか。

A 月額所得15万8千円から48万7千円までの範囲のかたになります。

Q 退居時の修繕などの費用を、予め徴収しておく必要があるか。

A 子育て世帯が入居しやすいよう、できるだけ負担を軽くしたいと考えます。

Q 地域のルールを守り、環境の整備を図ることが大切ではないか。

A 募集に際しては地域の活動や会費を明示します。地区の行事等には積極的に参加してもらい、地域のかたがたとともに活動し、環境美化にも努めていただくように説明し、理解をもとめます。



若者住宅を現地調査

補正予算の概要

会 計	補 正 額	補正後の予算総額	主 な 内 容
一 般 会 計	9,082万4千円	37億9,609万5千円	自動車重量譲与税・町債 介護施設補助金 防災情報通信整備交付金 公有財産売却収入 道の駅、駅前広場工事費
国 民 健 康 保 険	34万5千円	4億4,249万7千円	臨時特例交付金
水道事業 収益的支出	31万3千円	9,885万5千円	過年度還付金
農業集落排水事業	201万9千円	1億3,897万3千円	受益者分担金
公 共 下 水 道	804万5千円	2億3,841万4千円	測量設計委託料

を 政 問 町 (一般質問) う

(登壇順)

－ 吉田徳昭 議員 －

1. 消防署出張所前交差点、歩道の変更による事故防止及び安全対策について
2. 大寺六区、町道日曹線交差点信号機移設について

－ 遠藤将夫 議員 －

1. 来年度の予算規模と事業内容について
2. 磐梯町集中改革プランの実施状況について

－ 佐藤貞夫 議員 －

1. 町内生活福祉バスのサービス強化について
2. J R磐梯町駅周辺の公共用地の有効活用について

－ 穴澤勝俊 議員 －

1. 地域情報化施策について

－ 鈴木久一 議員 －

1. 施設的环境整備について
2. 町制50周年記念事業について

－ 佐藤孝則 議員 －

1. 農地法改正に対しての町の対応

－ 鈴木和意 議員 －

1. 平成22年度財政計画と振興計画について
2. 新政権のもとでの農業再生について

地域活性化センターに そば製粉庫を新設

道の駅の地域活性化センターにそば製粉庫を設置するため、利用料等を定めました。基本利用料は1袋(22.5kg)あたり20000円になります。管理人が好みの割合でそばを製粉します。



そば製粉庫を調査

若者定住促進住宅地の 貸付け及び譲渡の条 例を改正

七ツ森地区の若者定住住宅地について、区画数を「11区画」に、年齢要件「40歳以下」を「45歳以下」に、契約保証金または譲渡価格を「120万円」に、それぞれ見直ししました。40歳前後の方からの問い合わせや要望が多いため、年齢要件が改正されることになりました。

会津若松地方広域市町 村圏整備組合の規約を 変更

広域市町村圏整備組合が共同処理する事務のうち、介護認定審査会の設置及び運営に関する経費の支弁方法、均等割と申請件数割の見直しに伴い、組合規約の一部が変更になりました。

意見書

次の意見書が可決され、関係機関に送付されました。

◆ 電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書

一般質問



吉田 徳昭 議員

交差点の改善と標示・標識の明確化を強化せよ

(町長)

一体的な改修が必要と考えている

感知式及び押しボタン式併用の信号機に改善すべき

答弁 町長

【質問】 大寺六区日曹線交差点は、県道猪苗代塩川線バ

イパスができたことで、金上壇踏み切りが遮断され、同時に道路も閉鎖された。現状の車両通行の実態を考慮し、現在の時差式信号機を感知式及び自転車・歩行者対応の押しボタン式を併用した信号機に改善すべきと考えます。

【質問】 児童が横断する大寺六区諏訪山住宅入口についても、医療センターへ往來する車両も増えていることから、新規に信号機の設置が必要と考えます。

【答弁】 役場方面から来るとカーブになっており、シグマ方面からでは上り坂になっているので、設置するとしても予備信号が必要となり、難しい状況もあつて信号設置は見送られた経過があります。そうしたなかで、地域的な実情を勘案して信号も含め、その安全対策にどう工夫ができるのか、改めて検討をしてまいりたいと考えます。

【質問】 消防署磐梯出張所前の三叉路交差点は、歩道の間隔が狭く曲線になっており、事故多発危険箇所でもあります。歩行者の安全安心を優先に考え、現在の歩道を直線にして歩行者の安全確保を図り、さらに「常時左折可」標示の看板及び信号機の赤色灯時、矢印方向指示の夜間対応の改善を、県公安委員会や道路管理機関に働きかけ、要望すべきと考えます。

【答弁】 歩道の延長と山道交差点改良は一体的な改修が必要で、早期実現に向け働きかけを強くしてまいります。また、標識・表示についても猪苗代警察署並びに県公安委員会に対し改善を要望してまいります。



消防署前交差点

【答弁】 日曹へ勤務するかたがたの通行や小学校通学児童の横断、さらには車のスピードを落とす意味でもこの信号機は必要であるとの結論に達した経緯があります。これまでの経過を踏まえ関係機関と再度協議し、町民の交通安全対策に努めてまいります。

一般質問

— 遠 藤 将 夫 議 員 —

平成22年度の予算規模と事業内容を問う



(町 長)

新政権のもと、未だ不透明な状況である

【質問】国は行政刷新会議を設け、その仕分け作業が民主党議員と民間有識者によって行われましたが、地方行政を預かる五十嵐町長はどのような感想をもたれましたか。

【答弁】新政権が行った事業仕分けは基本的に予算を編成する上で重要であると考えます。結果の是非は別として興味深く拝見し、今回の結果が予算編成にどのように反映されるのか注目しています。

【質問】まちづくり交付金事業の道の駅駐車場増設、JR駅自由通路と東口広場整備、慧日寺史跡周辺の参道整備の3事業は予定通り継続できるのですか。また、大正浪漫館整備は経済状況と情勢を見極め、当分凍結すべきではないでしょうか。

【答弁】まちづくり交付金事業は平成23年までの5ヶ年計画ですが、事業仕分けに

おいて、地方移管と判断されました。それが補助金の削減になるのか、権限の移譲なのか未だ不明で、国の予算編成にどう反映されるのか心配しています。

質問の3事業はすでに着手しているものもあり、予定通り実施する計画です。

また大正浪漫館整備は、磐梯町の歴史・文化の象徴的な建物を保存活用する観点から計画していますが、まちづくり全体の中で慎重に判断をしてまいります。

【質問】過疎地域自立促進特

別措置法が終了し、過疎事業債が利用できなくなるのと、町振興計画には約11億円の事業費が計上されているが予算化するのか、また、無散水道路整備事業は計画されるのでしょうか。

【答弁】第三次修正振興計画において交付金と過疎債を充当し、薬師橋から金堂まで約400mを門前通りとして一部無散水道路とする計画をしています。国の動向を注視しながら慎重に進めてまいります。

町集中改革プランの成果は

答弁Ⅱ町長

【質問】このプランは平成18年から22年までの5年間の計画で、行政運営における町民と行政の協働体制の確立を目的に財政改革を行うものです。最終年度をむかえるにあたり、計画の目標値が実施されているのでしょうか。

【答弁】推進委員会に準ずる定例庁議や臨時庁議を開催し、定員管理の部分や財政に関することなど、今日まで協議を重ねている状況です。定員、公債費比率、町税の収納率については目標値を達成しています。



駅ホームから東口広場現地を調査

一般質問



佐藤 貞夫 議員

生活福祉バスの充実を図れ

(町長)

町の事業の進捗を見据え充実を図る

【質問】 JR磐梯町駅に町内生活福祉バスを乗り入れる計画がされているようですが、いつの時点で行なわれるのですか。

【答弁】 JRを利用する町民の足の確保を図るため、段階的に駅東口への町内生活福祉バスの運行を検討しています。

【質問】 道の駅の施設を利用したり、見学したり、また食堂を利用してみたいという町民の要望があります。道の駅にバスが入れば助かることについて町はどのように考えていますか。

【答弁】 現在駐車場の増設工事をしているので、整備後、状況により判断します。

【質問】 本寺のバス停が1ヶ所ありますが本寺地区上部にもバス停を設ける必要があるのではないですか。

【答弁】 利用者の利便性を考えた上で、本寺地区の交通安全状況も踏まえ、本寺行政区の要望をお聞きしながら検討してまいります。

【質問】 YOU・ゆーのバス停留所に待合所が必要と思うが、町はどのように考えていますか。

【答弁】 必要性など町全体を見据えた中で今後検討してまいります。



町内生活福祉バス

駅周辺公共用地の活用を

答弁 町長

【質問】 大正館跡地を、駅を利用されるかたの駐車場として開放する時期はいつになるのですか。

【答弁】 大正館跡地は、現在駅前の上下水道工事により臨時的に駅への送迎車両の仮設駐車場として利用しています。磐梯町の歴史文化の象徴的な建物として保存活用しようとまちづくり交付金事業の中に計画をしてきたものですが、まちづくり全体計画を見据えた中で慎重に今後判断してまいります。

【質問】 今後どのようにJRの駅舎を利用するのか、はっきり方向性を決めてJRに要望を出すべきではないでしょうか。既に要望が出されているのならば、JRとの話し合いはどの辺まで進んでいるのですか。

【答弁】 磐梯町の一つの歴史文化の香る施設という観点に立ち、町民をはじめお客さんが気持ちよく、快く利用活用できるような施設にしてほしい。外観、意匠、内装等についても心が安まるような駅舎にしてほしいと協議をしてきました。

【質問】 駅周辺の町有地を駐車場として開放してはどうか。

【答弁】 現在整備を進めている駅東口の広場で当面は十分対応できると考えます。

一般質問

— 穴 澤 勝 俊 議員 —



地域情報施策の今後の状況は

(町 長)

訪問説明会も視野に入れている

【質問】町の防災行政無線は導入後20年が経過し老朽化が進んで、音声聞き取りにくい状況にあります。防災行政無線に代わる情報伝達手段として、光ファイバー網を活用した情報システムとして、町はIP告知の情報発信の導入を検討してきました。

IP告知システムが、実現されれば防災無線放送で提供しているさまざまな行政情報が音声と動画等でわかりやすく提供でき、確実に速い情報伝達が可能となります。地域住民の生活においても利便性の向上が図られるものと期待されますが、IP告知端末機（テレビ電話）が各世帯に設置されても、住民の方々が理解して利用できるのが問題と思われまふ。今後、町民へのPRや、各地区において説明会を開催すべきと考えます。

【答弁】町は防災無線の充実と情報システムの具現化に向け事業計画を進めているところですが、町民の方々がスムーズに理解して活用できるように説明会をはじめ、場合によっては訪問説明会も視野に入れています。



防災無線放送設備

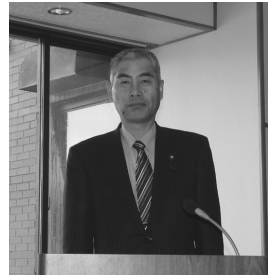
【質問】IP告知端末フレッツツフォン（テレビ電話）を新たに購入する際には、町からの補助はあるのですか。

【答弁】防災無線に代わる端末として考えているので、現在各世帯に設置している防災無線の受信機同様、無償で貸与する考えです。

【質問】緊急時の連絡網としては各地区の屋外子局放送による防災無線を基本にIP告知端末と、両方使えるようにすればどちらかが故障した場合でも補完できることにより、町民の安心、安全が保たれるのではないのでしょうか。

【答弁】現在の防災無線は各家庭及び屋外子局での固定型です。現在の防災無線をより充実した防災システムとして構築するために、無線と光ファイバー網によって二重の安全性を考慮し、町民サービスの向上につなげてまいりたいと考えます。

一般質問



鈴木 久一 議員

施設の環境整備について計画を示せ

(町長) (教育長)

高度利用を図るためさらなる利活用を検討する

さらに活用したい考えです。盛り上がった石などもありますので財政当局とよく協議し、検討してまいります。

【答弁】 諏訪山住宅周辺の町有地の利用方法に関しては慎重に検討しているところです。今後の諏訪山地区の全体計画を策定した中で対応していきたいと考えます。

【質問】 諏訪山地区町営住宅駐車場の舗装計画を示されたい。

【答弁】 当分の間多目的広場として利活用を図り将来的には土地の高度利用を検討します。

【質問】 第二小学校体育館脇の空き地の利活用について、きちんと整備して多目的使用並びに、駐車場にすべきと考えます。今後の使用方法を示されたい。

【答弁】 財政上の状況がゆるせば、整備して広場として



更科グリーンスタジアム

町制50周年記念事業について

答弁 町長

【質問】 来年度は町制50周年を迎えます。それを記念する予算規模やイベントをどのような形で運営していくのか明示していただきたい。

【答弁】 来年度は記念すべき町制50周年という大きな節目の年ですので、財政状況も考慮しながら創意と工夫により、町民あげての記念事業になるように進めてまいります。来年度の町の行事なども視野に入れながら、町制施行50周年の記念式典やイベントを開催してまいりたいと考えます。

みなさまの声をお寄せください！

磐梯町議会事務局



TEL 74-1219 FAX 73-4301

E-mail: bandai-gikai@town.bandai.fukushima.jp



一般質問

— 佐 藤 孝 則 議員 —

農地を確保するため組織強化を



(町 長)

各団体と連携を強化し振興を図る



さらなる農業の振興を

【質問】「賃借等による利用の促進」と「転用機会の抑制」を主な改定点とした、農地法の一部を改正する法律により、賃借規制が緩和され、会社等の参入がしやすくなり、町内の農業経営に多大な影響がでると思われます。

【答弁】農業委員会を軸として農地転用規制の厳格化を図り、また農地の適正利用監視体制の強化等により農地の確保を進めます。

町は農業関係者の育成、確保はもとより、農業委員会や農業協同組合、土地改良区等とさらなる連携強化を図り、農業の振興を図ってまいります。

次回の定例会は 3月中旬に行なわれます。
ぜひ傍聴においでください。



※くわしい日程は後日
チラシにてお知らせします。

一般質問



鈴木和意 議員

平成22年度における財政計画と振興計画は

(町長)

国の動向を見極めながら進めていく

【質問】磐梯町は、時限立法の過疎地域自立促進法による過疎地域に指定されていますが、平成21年度で終了します。町の財政運営と振興計画の推進に欠くことのできないものですが、平成22年度の予算編成を間近にして、過疎指定について町の対応を伺います。

町債の償還額は22年度が元利合計6億5800万円となり、以降は順次減少になる見込みです。

ながら、今後の実施計画の策定にあたります。

【質問】地方交付税等町財政の中長期的見通しは。

【質問】過疎指定の動向によつては振興計画の見直しが迫られると思いますが、今後の実施計画を伺います。

【答弁】国会の動向を確認し

【答弁】町税の収入を約7億5000万円と試算すると、22年度の地方交付税は約10億円になる見込みです。

【答弁】過疎法が国会において延長されることを期待します。

【質問】町債、過疎債の状況とその償還シミュレーションはどうなっていますか。

【答弁】町債は普通会計、特別会計合わせて6億9900万円、そのうち過疎債は18億8300万円です。



振興計画審議会

新政権での農業再生は

答弁Ⅱ町長

【質問】新政権は、戸別所得補償制度導入など新たな農政転換を図る施策を出していますが詳細が不確定で、農村の現場では対応に困惑しています。米の生産調整について、国から県への配分が発表されましたが町への配分面積を伺います。さらに、転作助成金も影響があると報道されていますが、具体的な内容は。

【答弁】現時点では22年度産米の転作配分面積は確定していないので発表を受けて、対応を検討します。

【質問】農業再生には農家の所得補償制度の確立が求められており、新政権の戸別所得補償制度の実施の見通しについて伺います。

【答弁】戸別所得補償制度の事業の骨格は示されたものの、まだ具体的な内容は示されておりません。

【質問】会津農林事務所が開発した新品種そば「会津のかおり」のブランド化が進められ導入が迫られると思います。この品種を普及するにはすべての農家が一挙に会津のかおりに転換することが求められます。町はその栽培普及についてどのような方針で臨まれるのでしょうか。

【答弁】種子の確保から播種、刈り取りまで徹底した営農指導と集荷体制の整備が必要となり、現在関係機関と協議中で、早急に導入に向け具体的な検討を行うよう要請しています。

臨時会

11月9日

◆一般会計補正予算

歳入の主な内容

- ・地域活性化・経済危機対策臨時交付金 1542万円増
- ・まちづくり交付金事業債 1080万円増

歳出の主な内容

- ・会津計算センター負担金 750万円減
- ・新型インフルエンザ予防接種助成金 1012万6千円
- ・道路維持補修工事費（台風被害） 600万円
- ・町営住宅管理費・建設費 700万円増
- ・道の駅施設工事費 1080万円増
- ◆国民健康保険特別会計補正予算
- ・退職被保険者等高額療養費 104万3千円増
- ◆後期高齢者医療特別会計補正予算
- ・広域連合納付金 28万7千円増
- ◆七ツ森地区下水道事業特別会計補正予算
- ・前年度繰越金 5万7千円

臨時会

11月25日

◆職員、特別職、議会議員の給与・期末手当を改定

県人事委員会の勧告に基づき、12月からの期末手当と職員給与の引き下げを行いました。

- ・議会議員と特別職の期末手当は0
- ・13月分改定され、議会議員が平均3万円、特別職が平均9万円の減額となりました。

職員については、給料表の改定により平均0.14%減額、期末勤勉手当が0.38%減額となり、平均年間給与は2.8%、額にして18万4千円の過去最大の引き下げとなりました。さらに持ち家に係る住居手当も減額改定されました。

◆一般会計補正予算

- ・給与改定に関する補正
- ・道の駅防雪対策工事費 435万2千円

視察調査

11月25日

地域情報通信施策に関する先進地を視察調査

現在使用している防災無線システムの老朽化に伴い、新たな情報通信設備を整備するための調査として、ケーブルテレビや光ファイバー化の事業に取り組んでいる西会津町を訪問し、放送設備などを視察しました。



ケーブルテレビ放送設備を視察

平成21年会議開催の概要

平成21年1月1日～12月31日

区 分	会期日数	会議日数	付 議 事 件 数										一般質問	傍聴者
			町 長 提 出					議 員 提 出				請願		
			条例	予算	決算	専決処分	その他	意見書	決議	条例	その他			
定例会 (3月・6月・9月・12月)	34	21	25	41	14	1	14	12			2	10	29名 52件	15名
臨時会 (1/9,2/27,3/27,4/22,5/25 6/22,7/31,11/9,11/25)	9	9	12	23		4	6							

議会の動き

11 月

- 1日… 町文化団体連絡協議会秋の芸能まつり
会津若松市制110周年記念式典
- 2日… 議員全員協議会・議会広報委員会
- 3日… 町文化祭表彰式
町マラソンソフトボール大会
- 4日… 新過疎法制定促進総決起大会
- 5日… 緑資源幹線林道米沢下郷線推進協議会総会
- 7日… ふくしま駅伝壮行会
- 9日… 臨時議会
- 10日… 福岡県川崎町議会議員来町
交通死亡事故ゼロ1500日達成表彰伝達式
- 11日… 町村議会議長全国大会
- 12日… 岩手県大槌町議会議員来町
- 15日… ふくしま駅伝健闘会
- 20日… 金田孝恵美子夫妻県農業賞受賞祝賀会
- 25日… 臨時議会・議員全員協議会・視察調査
- 26日… 慧日寺跡ガイダンス施設建設工事安全祈願祭
県町村議会議長会理事会
- 29日… 西会津町制55周年記念式典
- 30日… 山のみち交付金事業整備促進要望活動
会津若松地方広域市町村圏整備組合臨時会

12 月

- 3日… 町除雪対策会議
- 4日… 町社会福祉大会
- 9日… 議会運営委員会
- 10日… 議員全員協議会
- 14日～18日… 12月定例会
- 18日… アルツ磐梯スキー場安全祈願祭
- 23日… 町ソフトボール協会納会

1 月

- 6日… 町消防団出初め式
- 7日… 磐梯初市開き
- 9日… 新春町民交歓会
- 13日… 議会広報委員会
- 22日… 県町村議会議長会理事会
- 27日… 会津を拓く講演会
- 29日… 臨時議会・議員全員協議会
会津耶麻町村議会議長会議

福岡県川崎町議会が来町

11月10日に川崎町議会建設産業常任委員会7名が、史跡慧日寺跡金堂復元について視察に訪れました。



岩手県大槌町議会が来町

11月12日に大槌町議会総務・産業建設常任委員会11名が、光ファイバー整備事業について視察に訪れました。



編集後記

新政権が発足し、マニフェストによって子供手当の支給が決まったが所得制限でもあった。

そうこうしているうちに鳩山総理の政治資金の収支が問題となり、新聞の川柳欄で「鳩山家子供手当が多すぎる」と揶揄された。さらに小沢幹事長の土地購入の資金の出处が疑惑の種になった。

これからどうなるのかと気になります。鳩山総理の決断力の無さも気になります。

楽天の野村前監督は、トップは判断より決断が大事だと言ったが、まさしくそのとおりだと思います。

私は議員として自己啓発に努め、町政のあらゆる場において、的確なる判断力のもとに批判し提言し、町のトップの適正なる決断を促すことができたいと思います。

(文責 菅沼一雄)

議長	六澤 保
副議長	菅沼 一雄
委員	六澤 勝俊
委員	佐藤 孝則
委員	鈴木 久一